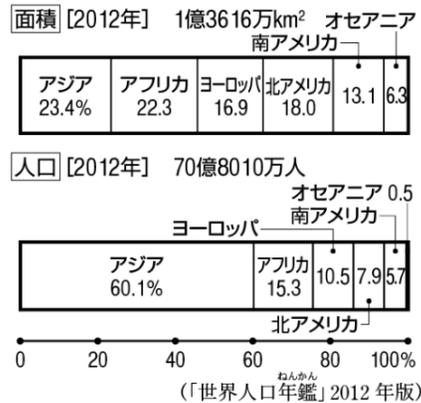


世界から見た日本の姿 ～世界から見た日本の人口～ 活用編

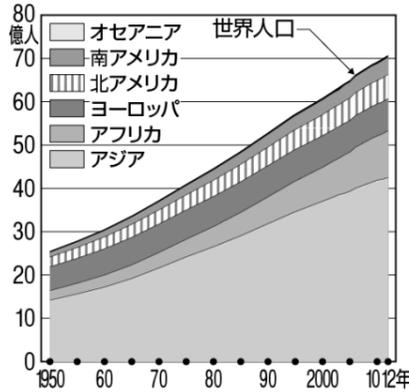
☆教科書, 資料集などを使い, 問題を解いてみよう!

世界の人口分布と変化

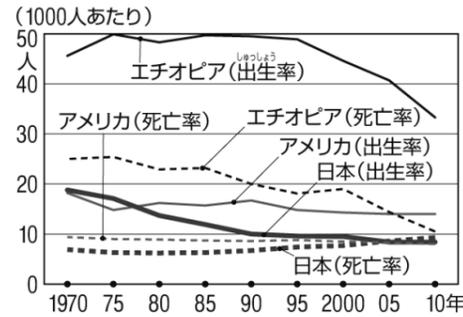
【資料1】地域別の面積と人口の割合



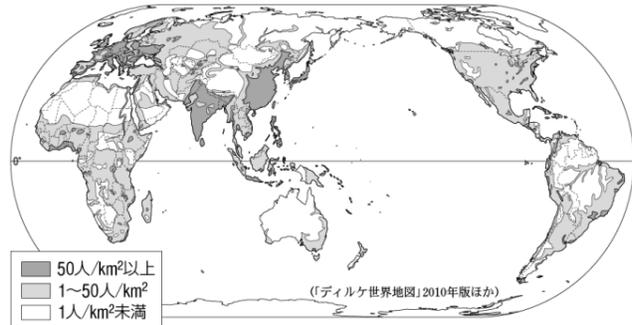
【資料2】地域別人口の移り変わり



【資料3】主な国の出生率と死亡率の変化



【資料4】世界の人口密度



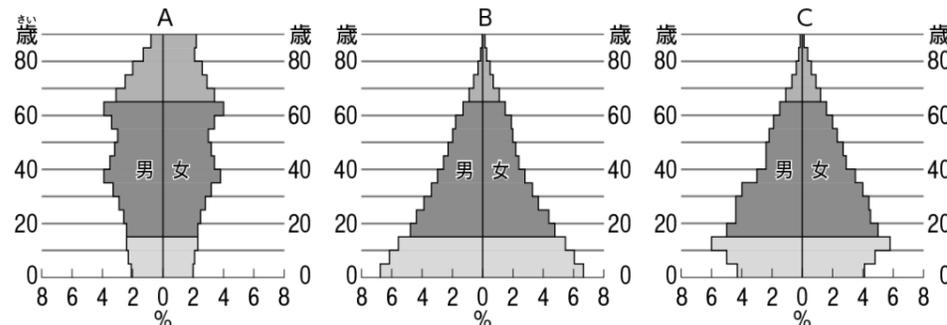
◆【資料1】～【資料3】から読み取れる内容として適切なものを, 次のア～エから一つ選び, 記号で答えなさい。
(答.)

- ア 世界の州ごとの人口密度が, 最も高いのはアフリカ州である。
- イ アジアとアフリカでは, 1950年から2012年までに人口が約2倍以上に増えている。
- ウ アメリカは死亡率が出生率を上回っているので, 人口が減少していることが分かる。
- エ 最も人口が多いのはアジア州だが, 近年は人口が減少している。

◆【資料4】を見て, 人口密度が低い地域の自然環境の特色を, 説明しなさい。
(答.)

日本の人口と過疎・過密問題

◆次の資料A～Cは, それぞれ日本の1935年, 1960年, 2010年の人口ピラミッドである。日本の人口ピラミッドはどのように変化したか, A～Cを年代順に並べかえなさい。
(答. → →)



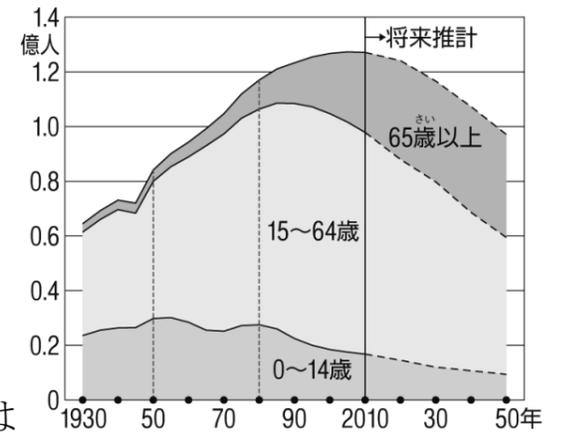
◆A～Cの人口ピラミッドは, それぞれどのように呼ばれるか。

A () B () C ()

◆右の【資料5】から読み取れる内容として適切でないものを, 次のア～オから一つ選びなさい。
(答.)

- ア 1940年代後半の「ベビーブーム」以降, 経済成長や医療の発達などの影響もあって, 近年まで人口は増加し続けてきた。
- イ 1950年から1970年代にかけて, 15～64歳の年齢層がいちばん増加した。
- ウ 1980年を過ぎたころから, 高齢化と少子化が進み始めた。
- エ 2010年以降は人口が減少し, 2050年には人口が1億人を下回るという推計になっている。
- オ 2050年から人口が増加に転じると予想されている。

【資料5】日本の人口の移り変わり



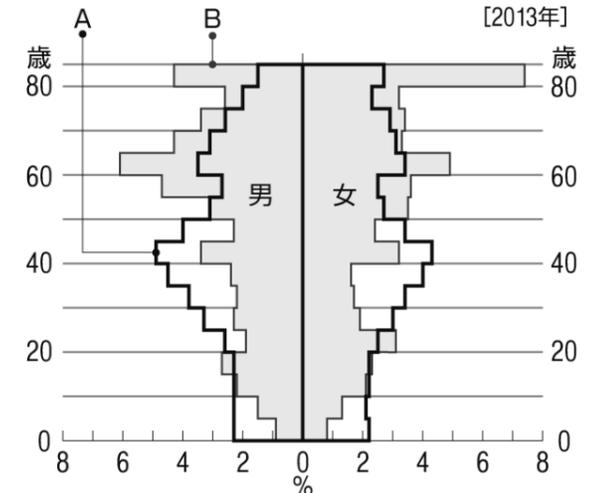
◆右の【資料6】から, 三大都市圏には日本の人口の約何割が集中しているか, 整数で答えなさい。
(答. 約 割)

【資料6】三大都市圏への人口集中



◆右下の【資料7】のA・Bは, 過密地域と過疎地域の人口ピラミッドである。過疎地域の人口ピラミッドを, A・Bから選び, 記号で答えなさい。(答.)

【資料7】過密地域(埼玉県川口市)と過疎地域(埼玉県東秩父村)の人口ピラミッドの比較



◆過疎地域では, 人口の減少と高齢化が進んだ結果, どのような問題が起こっているか, 「経済活動」「公共交通機関」「地域社会」という語句を使って, 説明しなさい。